



学校だより

半田市立乙川東小学校

第9号

令和5年11月27日

発行責任者：福島 富美

おっぴ



校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



令和5年度 人権啓発キャッチコピー

「誰か」のことじゃない

今年も人権週間（12月4日～10日）がやってきます。今年のキャッチコピーは令和2年度から4年連続で『「誰か」のことじゃない』です。とても大切なことなので、人権週間に先んじて、27日の朝会で子どもたちに話しました。

人権週間の今年のテーマは『「誰か」のことじゃない』です。これは、何かが起こったとき、「自分のこととして」考えようということです。

たとえば隣のクラスの子が、給食の準備でワゴンを運んでいるときに廊下を走っていた子にぶつかっておかずに全部廊下にこぼれてしまったとします。それを知ったとき、「自分のクラスじゃないから関係ないや。」と思うのは「自分のこととして」考えていませんね。「自分のこととして」考えると、「もし、自分が隣のクラスの子だったら。」とか「もし自分が走っていた子だったら。」と考えます。そうすると、「おかずにないのは困るから、自分のおかずに分けてあげようかな。」とか「走った子も後悔してると思う。自分も走らないようにしよう。」ということになりますね。つまり、「自分のこととして」考えると、起こってしまったことを解決する方法が見つかったり、これから自分も気をつけようと思えたりするのです。何か起こったときに、「自分は関係ない。誰かのしたことだから」ではなく、「自分だったらどう思う？どうする？」と考えることが、みんなが幸せに生きることにつながると思います。

11月27日朝会のお話より抜粋

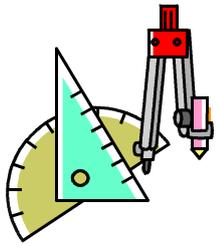
500人余りの子どもたちが集まって生活する学校では、日々様々なことが起こります。正直なところ、よいことばかりではありません。実際に、人の持ち物へのいたずらや落書きなど暗い気持ちになるようなことも起こっています。そのような時、当事者への指導はもちろんですが、同じ学校で生活する子どもたちや私たち職員も「自分のこととして」考え行動することを積み重ねることが、解決や次の行動につながると考えています。

<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken03.html> 人権週間 HP（法務省）

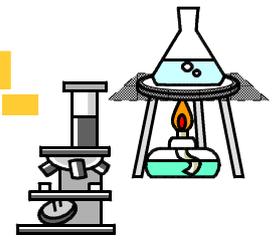


お願い

下校後に学校へ忘れ物をとりにくることは、安全上の心配があることと、会議等で職員の対応が難しいことから推奨していませんのでご協力お願いします。学校でも、下校時に忘れ物がないように声かけを行っていきます。



博士ちゃんがいっぱい！



子どもたちの探究心を大切にしたいです！

5年生：米を育てていく中で学習が広がっていきました。



稲刈り



他学年への啓発



脱穀

3年生：お酢の魅力にはまり、実験や工作、そして新商品の開発！



酢を使った実験



酢を運ぶ弁才船の制作



発表の相談

1年生：秋のおもちゃ屋さんに向けて、おもしろくて丈夫なおもちゃを作ります。



1年生同士で大会の練習



試しながら作ります



楽しめるような工夫

そして、学校外でも探究心を発揮している子どもたちがいます。先日「あいち少年少女創意くふう展」で乙川東小5年の児童が特許庁長官奨励賞を受賞しました。(ただ今全国大会に出品中です。)水槽の水(糞が混じった栄養価の高い水)をポンプで吸い上げ植物を育て、そこで出される酸素はまた水槽の中に戻す。余剰の水は、濾過装置できれいにして水槽の中へ。ポンプを動かすのは太陽光だそうです。名付けて「自然のアパート」。制作しているときのわくわくが伝わってくる作品でした。



「自然のアパート」